

# 業務速報

**300系車両ディスクボルト折損に対する申し入れ  
即座に一斉点検をしない理由は、  
日々の確認検査で確認可能  
と判断したからだ！**

**本部、本社間の協議はしない…  
それでいいのか！**

7月8日、申第3号「新幹線300系車両のディスクボルト折損に関する申し入れ」について、幹事間折衝を行いました。会社は、地方からも同じ内容の申が出されているので、本社、本部間の協議は行わないとしました。組合側は、同じような内容でも、協議を重ねることによって安全に向けた対応がより深度化する。したがって協議を行うべきだと主張しましたが、結局対立を確認しました。

会社は申の5項目（折損事故から今日まで、ディスクボルトの一斉点検を指示しない理由を明らかにすること）について、「ブレーキディスクボルトは、日々の検査で確認可能と判断した」との回答をしました。しかし、日々の検査の不十分性が今回の結果を招いたわけであり、他の車両にも同じような現象が無いとは言えません。緊急性を問わない安易な考え、安易な対応こそ事故を再発させる何よりも根幹です。

私たちはこの様な姿勢を許すことなく、安全確立に向けて闘います。

会社：申3号については地方（新幹線、関西）からも同内容で申が出されているので、本社、本部では協議は行わない。

組合：同じ内容であっても協議する対象が違うのだから、協議を重ねることによって、より確実な安全対策ができるのではないか

会社：会社として違う見解にはならない。

組合：対立を確認する。

会社：5項目目については「ブレーキディスクボルトは、日々の検査で確認可能と判断した」ということである。

組合：日々の検査が不十分であるから今回の結果を招いたのではないか。

会社：そのような主旨の解明要求ではない。回答は以上の通りである。

組合：日々の検査で十分と言うことなのか。

会社：そうだ。

組合：十分というなら、今回のようなことはなかったと思うが。対立である。